



補習校だより

平成26年度 第37号

平成27年2月7日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

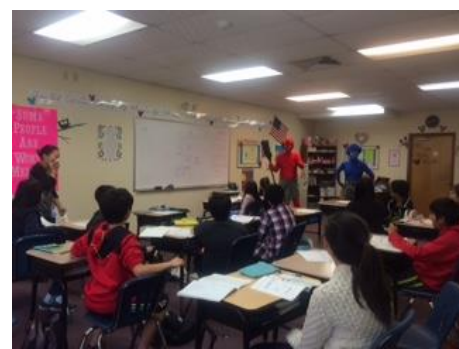
豆まき

校長 永井 晋

先週、幼稚部で節分の豆まきを行いました。節分とは、読んで字のごとく、季節の分かれ目のことで、元々は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指していたそうです。節分が特に立春の前日を指すようになったのは、冬から春になる時期を1年の境目とし、その前日は大晦日と同じ意味合いを持つと考えられていたからだそうです。その大晦日に、お祓いや次の年の無病息災を願って始まったのが「豆まき」だそうです。悪いものの象徴である「鬼」（鬼門の鬼です）に豆（魔滅）をぶつけて、役を祓うという意味だそうです。

補習校でも朝礼で校長が簡単に節分の意味を紹介すると、その後の1分間スピーチで子供がさらに詳しく説明してくれました。そして、午後の幼稚部の授業で豆まきをしているとなんと補習校にも鬼が現れました。もちろん中身は人ですが、初めて姿を見た幼稚部の子供たちはびっくりして逃げまどい、泣き出してしまいう子供までいました。それでも先生や保護者に促され、鬼退治に豆をぶつけ始める子供も出てきて、最後には全員で鬼退治をしました。そしてついに鬼は悪さをやめていい鬼になる約束をしました。鬼たちは最後に各教室を回り、子供たちがきちんと学習をしているかを確認していました。

先週も同じようなことを書きましたが、補習校では、ある意味、日本よりも日本的です。意図してそうしないと、日本ではないので日本の行事に触れることができない恐れがあるからです。しかし、年間42日間の授業日しかなく、学力と行事を天秤にかけることがしばしばあります。授業を確保しつつ、日本の伝統や文化も子どもたちに伝えていきたいと考えています。



【お知らせ】

シリアにおける邦人拘束事案について、文部科学省および外務省（マイアミ総領事館）等から注意喚起の文書が複数届いております。日本のメディアで報道のあった在外教育施設（日本人学校や補習授業校）と文部科学省のホットラインについても通知が来ております。（基本的には運営委員長か管理職から連絡）本校でも、運営委員を中心に再度安全点検を行い、警備員に状況説明を行い有事の際の連絡方法等について確認を行います。保護者の皆様にもご協力をお願いすることもありますが存じます。その際にはご協力をお願いいたします。